

# 「ちばの系統豚」情報

## 2008年 9月

千葉県畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室

### 1 「ボウソウル3」の繁殖性能 遺伝的能力評価（育種価）の結果から

ボウソウル3が平成16年9月に認定されてから4年が経過しました。この間の繁殖成績（生存産子数、3週齢子豚頭数、3週齢一腹総体重）については(社)日本養豚協会に報告し、ボウソウル3の遺伝的能力評価としてデータがフィードバックされています。

今回はこのデータを基にボウソウル3の繁殖能力について報告します。なお、維持豚群は、雄10頭・雌40頭、ほぼ100%人工授精による種付けで、そのうち90%は純粋種生産の成績です。

最新版の2008年7月の農場平均の評価結果は下表のとおりです。

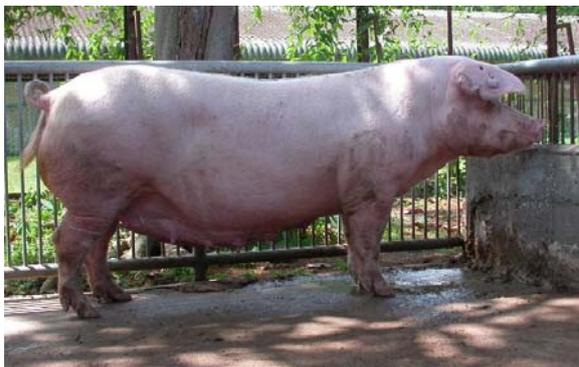
	産次数	生産頭数		3週時育成頭数		3週時一腹総体重	
		測定値	育種価	測定値	育種価	測定値	育種価
農場平均	4.7	9.9	0.07	9.9	0.08	61.4	2.95

（生存）生産頭数は約10頭で推移していますが3週時一腹総体重は、育種価もプラスで能力の高さを示しています。

個体について（生存）産子頭数の育種価が高いものベスト10は下表のとおりです。

	子豚登記番号	産次数	生産頭数		3週時育成頭数		3週時一腹総体重	
			測定値	育種価	測定値	育種価	測定値	育種価
1	16137	7	11.3	0.64	11.1	0.05	67.3	0.23
2	18260	6	11.0	0.49	11.0	-0.02	57.3	-4.14
3	19096	3	13.0	0.49	13.0	0.00	64.8	-2.49
4	19094	2	12.5	0.41	12.5	0.00	58.5	-2.56
5	19197	3	11.7	0.40	11.7	0.03	72.0	0.69
6	16089	7	11.0	0.39	10.0	0.01	63.4	0.47
7	19075	3	11.7	0.37	11.0	-0.03	56.7	-3.06
8	18008	6	10.3	0.32	9.3	-0.02	54.6	-1.56
9	19196	1	10.0	0.24	8.0		52.9	0.31
10	16175	6	11.5	0.22	11.3	0.03	65.9	0.62

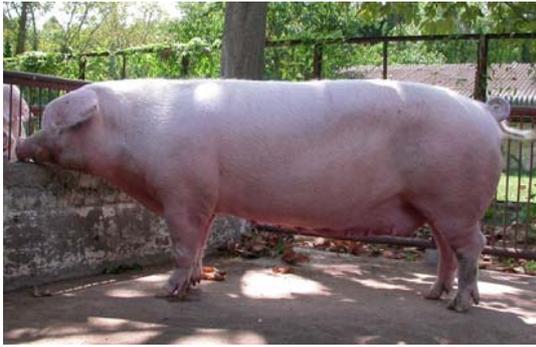
上位豚の写真を掲載しました。（なお、1位の16137は、分娩舎に移動中（8月8日に分娩））



2位 子第18260  
H16.10.16 生



3位 子第19096  
H18.1.27 生



4位 子第19094  
H18.1.25 生



5位 子第19197  
H17.10.30 生



6位 子第160896位  
H14.3.16 生



10位 子第16175  
H15.3.12 生

いずれも、しっかりとした骨格構成で中躯の充実した豚です。また、4歳、5歳の豚でも後肢の爪が伸びることはなく、肢蹄の良い豚が目立ちます。

繁殖性の改良は遺伝率が低いため改良量が少ないですが、能力のハッキリしたものを使うことにより、確実にレベルアップしていくことが生産性の向上には必要です。

そのためには、系統豚を利用してみてはいかがでしょうか。

## 2 新規系統造成、今年度より始まる！！ 品種は「ランドレース種」

新規の系統造成を開始するにあたり、県内生産者、流通業者、消費者団体等からなる千葉県種豚選定検討会が、4月24日と6月9日の2回開催されました。

その結果、平成20年度から平成26年度の7年間をかけて、ポウソウル3の後継となるランドレース種の系統造成を開始することが決まりました。

今後、基礎豚の導入先等についての検討を行い、今年度中に当センターに基礎豚を導入する予定です。

全体のタイムスケジュールは、下記のとおり。

平成20年度：造成品種、改良形質等の決定、基礎豚の導入

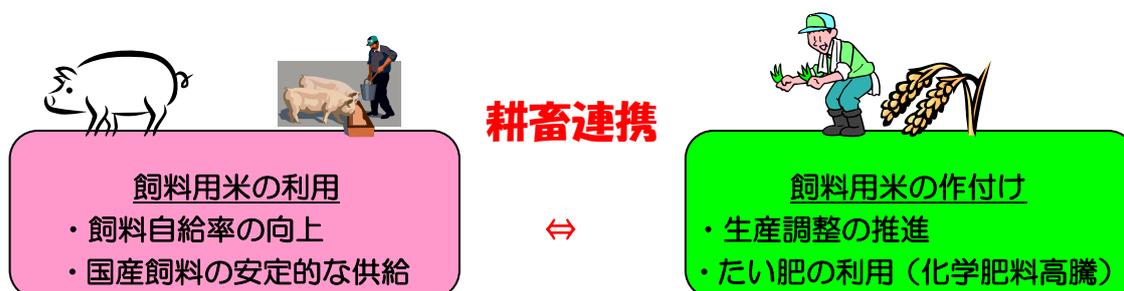
平成21年度：造成開始、第一世代誕生（1年で1世代更新、その際選抜）

平成26年度：5世代の選抜後造成完了、新規系統豚の認定

### 3 「飼料用米」利用推進に向けて！！

#### ☆養豚への取組☆

先の見えない輸入穀類の価格高騰が続く状況で、日本の畜産が危機的状況にある中、飼料自給率の向上と畜産経営の安定を図るため、可能な限り国内で飼料生産を推進することが重要な課題となっています。飼料高騰対策および飼料自給率向上の取り組みとして、エコフィードの利用が挙げられますが、最近では、国内で生産できる飼料原料として、飼料用米への関心が高まりつつあります。お米は高いというイメージがありますが、多収品種や、家畜の糞尿を利用する多肥栽培にも適応した品種の開発、栽培方法の見直しなどの研究が取りまとめられ、最終的な生産コストをキログラムあたり 30 円～40 円を目標とした検討が行われています。



千葉県の稲作農家においては、米の生産調整が急務となっていますが、転作に向かない湿田であるなどの理由により、思うように進んでいないのが現状です。そこで、効率的な取り組みとして、飼料専用品種等を利用した飼料用米の生産が注目されています。

千葉県でも、耕畜連携の取り組みとしてプロジェクトチームを設置し、迅速な普及を目指して動き出しています。当センターでも、今年の秋収穫予定の飼料用米を利用した給与試験を実施いたします。成果発表会などで、情報の提供を行っていきたいと考えております。

参考 飼料用米の成分組成と消化率（豚：日本標準飼料成分表より）

	水分	粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	NFE
	(%)	(乾物%)				
トウモロコシ	13.5	9.2	4.4	2.0	1.5	82.9
粳米	13.8	10.3	2.5	10.0	6.3	70.9
玄米	13.7	9.2	2.7	1.0	1.6	85.5
	消化率(%)				栄養価	
	粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	NFE	TDN(%)	DCP(%)
トウモロコシ	80	84	45	93	81.0	3.6
粳米	65	52	0	90	63.4	2.8
玄米	79	72	35	98	82.5	3.6

なお、表は粳米と玄米の飼料成分を示したものです。

玄米の飼料としての栄養価は、トウモロコシとほぼ同等ですが、粳米においては籾殻の部分の消化率がかなり低く、TDN、DCPともかなり劣ります。

## 4 お知らせ

### 1) 種豚の販売

大ヨークシャー種（ボウソウW）とランドレース種（ボウソウL3）の種豚については、畜産総合研究センター養豚養鶏研究室までご連絡ください。  
配布価格は、雄90kgで63,000円、雌90kgで52,500円です。

### 2) 精液の販売

人工授精用精液の受付は、平日8時30分から午後5時までに畜産総合研究センター養豚養鶏研究室までご連絡ください。

なお、休日・祝祭日は受付できませんが、直近の平日にご連絡いただければ、宅配のみ、いつでも発送いたします。

価格は、3,150円（100ml（50ml×2本入））です。

### 3) 種雄豚カタログ(2008-2009)について

人工授精用精液を配布する種雄豚を当センターのホームページに掲載しました。



### 4) 県豚共進会の日程

#### (1) 肉豚の部

日時：平成20年9月30日から10月2日

展示講評は、10月2日

場所：(株)千葉県食肉公社（旭市）

#### (2) 種豚の部

日時：平成20年10月28日から29日

種豚オークション（10月29日）

場所：JA全農ちば八街家畜市場（八街市）

詳しくは、(社)千葉県畜産協会養豚部へ

電話：043-241-3851

